

# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

## 評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島工業大学(仮称)生命学部棟新築	階数	地上3F
建設地	広島市佐伯区三宅二丁目1-1	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、第1種、2種中高層住居専用地域	平均居住人員	295 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	平成29/8/25 予定	評価の実施日	2016.9.1
敷地面積	150,127 m <sup>2</sup>	作成者	伊藤彩子
建築面積	1,645 m <sup>2</sup>	確認日	2016.9.10
延床面積	4,803 m <sup>2</sup>	確認者	梶原要介



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	93%
③上記+②以外の	93%
④上記+	93%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.4
光・視環境	3.0
空気質環境	3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.1
耐用性	3.1
対応性	4.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・敷地外環境	3.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.2
地域環境	2.6
周辺環境	3.1

### 3 広島市の重点項目

**重点項目の総平均スコア = 3.3**

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.4	スコア = 2.8	スコア = 3.1
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> モデル建物法による計算結果より // モデル建物法による計算結果より // 将来対応を考慮し、可動間仕切壁やパーティションを採用している / ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の計算結果より	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> / 敷地周囲に駐輪場があるため、十分な駐輪台数が確保できている	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 災害、停電を想定して、設備計画を行った / 十分なスペースのEPS、PSを確保している

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される